

## 国立保健医療科学院による医師臨床研修「地域保健・医療」プログラムの概要

1. 目的 将来保健所勤務等、公衆衛生分野のキャリアを目指す医師を育成すること
2. 期間 10～12月（3か月間）
3. 受入定員 2年目の研修医15名
4. 内容（例）
  - (1) 国立保健医療科学院における研修
    - 1) 公衆衛生行政に関する基礎講義（2週間程度）
    - 2) 健康危機管理研修等の短期研修（2週間程度）
  - (2) 関連施設との協力による研修
    - 1) 埼玉県内の保健所における実習（1週間程度）
    - 2) 国立感染症研究所、国立がんセンター等における実習（各1週間程度）
    - 3) 厚生労働省における実習（1週間程度）
    - 4) WHO 関連研修：感染症対策、生活習慣病対策（各2週間程度）
5. 上記の研修を修了した者については、翌年度以降、国立保健医療科学院の専門課程Ⅰ「保健福祉行政管理分野」（いわゆる保健所長コース）に入学した場合、遡って一定の単位を認定する。入学より3年以内に、遠隔教育を含む研修で全35単位を履修した者に、MPH（Master of Public Health）を授与する。
6. 平成18年度は3病院より7名の研修医で試行中。平成18年4月研修開始の研修医より本格実施予定（実際の研修は平成19年10月より開始）
7. 手続き  
本研修に研修医を参加させるためには、国立保健医療科学院が管理型臨床研修病院の臨床研修協力施設となる手続き等が必要である。

平成18年度医師臨床研修「地域保健・医療」国立保健医療科学院研修カリキュラム

10月				11月				12月			
日	曜日	研修内容	(スペア研修)	日	曜日	研修内容	(スペア研修)	日	曜日	研修内容	
1	日			1	水	臨床研修管理委員長研修		1	金	院外研修オリエンテーション	
2	月	オリエンテーション		2	木			2	土		
3	火	科学院基礎講義		3	金			3	日		
4	水	健康危機管理保健所長等研修(基礎)		4	土			4	月	埼玉県保健所実習	
5	木			5	日			5	火		
6	金			6	月	臨床試験に係わる臨床		6	水		
7	土			7	火	医向け生物統計学研修		7	木		
8	日	死体検案研修		8	水	(科学院特定研修)		8	金		
9	月(祝)			9	木			9	土		
10	火	科学院内研修		10	金			10	日		
11	水			11	土			11	月	国立感染症研究所実習	
12	木			12	日	感染症対策研修		12	火		
13	金			13	月	フィリピン大学公衆衛生	科学院講義・演習	13	水		
14	土			14	火	学部(マニラ)	または厚労省実習	14	木		
15	日			15	水			15	金	PM国立健康・栄養研究所	
16	月	生活習慣病対策研修		16	木			16	土		
17	火	WHO(ジュネーブ)		17	金			17	日		
18	水		厚労省実習	18	土			18	月	国立がんセンター実習	
19	木			19	日			19	火		
20	金			20	月	WHO西太平洋地域事務	ケースメソッドまた	20	水		
21	土			21	火	局(マニラ)	は厚労省実習	21	木		
22	日			22	水			22	金		
23	月	フィンランド国立公衆衛生	厚労省実習	23	木(祝)			23	土(祝)		
24	火	研究所(ヘルシンキ)		24	金			24	日		
25	水		科学院研修	25	土			25	月	レポート作成	
26	木		科学院研修	26	日			26	火	レポート発表・評価会・閉講式	
27	金			27	月	科学院講義・演習または厚労省実習		27	水		
28	土			28	火			28	木		
29	日			29	水			29	金		
30	月			30	木			30	土		
31	火	臨床研修管理委員長研修						31	日		

注)厚労省実習は、研修医によって日程が異なる。